

## 研究ノート

# 英語の授業を活気づけるアクティビティー 3

——中学校2年生で習う文法編——

## 磯野 徹

### 要 旨

英語科指導法 I<sup>1)</sup>の授業では、愛知県内の中学校・高校で使用されている教科書を用いて、学生たちに実際に模擬授業をさせている。受講する学生の多くは2年生であることを考えると、いきなり教壇に立たせて模擬授業をさせるのは時期尚早としたり、模擬授業をさせる前にもっと色々な事を教えるべきだ、と考えたりする人がいるかもしれない。しかし、殊この科目に関しては、まず実際に教壇に立つことを学生に経験させてから色々教えた方が効率の面ではるかにいいと確信している。例えば、パソコンソフトにしるゲームソフトにしる、そのソフトをさわる前に説明書を読んでもチンプンカンプンだが、一通り操作をしてから説明書を読むと説明されていることがすんなり頭に入ってくるという経験をした人は多いと思う。これと同じで、教壇に立ったことがない学生に授業の構成方法を色々教え聞かせるよりも、実際に体験させた後で様々な指摘をした方が学生としても分かりやすいと考える。

ただ、人前で授業をすることはおろか、話したりすることもまだ数多く経験していない学生たちである。いきなり教壇に放り出すわけではなく、模擬授業の前には必ず担当教員である私と事前に面談をするように義務付けている。20分足らずの模擬授業の為に2時間以上面談をすることは普通で、「先生という職業はこんなにも色々なことを考えて授業をしているんですね」という感想を述べて帰っていく学生が多い。

このようにして発表される模擬授業は、文法説明が中心のものや、アク

ティヴィティーが中心のものなど多種多様であるが、今回は、それらの中から、中学校2年生で習う文法事項の定着を図る際に使えるようなアクティヴィティーを4つ紹介していく。

キーワード：英語科教育法，中学校2年生の英語授業，アクティヴィティー，be動詞の過去形，to不定詞，助動詞，比較級・最上級

## 1. 中学校2年生で習う文法事項

東京書籍発行のNEW HORIZON 2の場合，中学校2年生で習う主な文法事項は，「be動詞の過去形」，「to不定詞」，「“have to”と“will”や“must”といった助動詞」，「if節，when節，because節」，「There is構文」，「比較級・最上級」，である。今回はこの中から，「be動詞の過去形」，「to不定詞」，「“have to”と助動詞」，「比較級・最上級」の文法項目を取り扱う授業を行う際に役立つアクティヴィティーを紹介していくことにする。全てのアクティヴィティーにおいて，生徒に何回も発言の機会を与えて表現の定着を図る，もしくは教科書に載っている文をただ繰り返すだけではなく自発的な発言を促すことを狙いとしている。

## 2. 「be動詞」の過去形の学習—間違い探しゲーム<sup>2)</sup>

この文法事項は，NEW HORIZON 2では，Unit1で取り扱われている。1年生の最後に一般動詞の過去形は習っているので，その「be動詞」版ということになる。現在形では“am”，“is”，“are”と3種類あった「be動詞」が，過去形では“was”と“were”の2種類になるということには注意を払うべきであるが，それ以外に関しては，1年生で学んできたことが理解できている生徒にとっては難しい項目ではないと思われる。

### [準備]

このアクティヴィティーは間違い探しゲームで，何箇所か違うところがある2枚の絵を生徒に見せた後で，「～があったが，今は…がある」という，過去形と現在形を対比させた文を生徒に言わせ，定着を図ることが目的なので，それに適した絵を準備する必要がある。今回，生徒が見つけてきたのは参考資料1のような元々は塗り絵用に提供されたものである(<http://nurie.ciao.jp>)。

[指導]

- (1) 参考資料 2 のようなワークシートを用いて、「be 動詞」の過去形の説明を行い、過去形になったときの「be 動詞」の変化を説明する。
- (2) 次に、生徒たちに 1 枚目の絵を見せ、しばらくしたのちにそれを隠し、今度は 2 枚目の絵を見せ、1 枚目と 2 枚目で異なっている点を英語で言わせる。参考資料 1 の様な絵を用いた場合は、“The sun was in the sky, but a cloud is in the sky.” や “A fish was in the water, but an octopus is in the water.” といった文を生徒から導き出したい。中々手が上がらないような雰囲気の場合は、グループ毎で話し合わせてもいいかもしれない。

この後、用いる絵を徐々に複雑にしていき、2 枚目の絵で物の数を増やして、“An apple was on the table, but two apples are on the table.” といった人称が異なる文を同時に言わせたり、2 枚目の絵で新たな物を登場させることで、“The sun was not in the sky.” といった否定を用いた文を言わせたりする事を目的とした絵を用意しておくといえる。

### 3. 「to 不定詞」学習—スカウトゲームを通して<sup>3)</sup>

「to 不定詞」は中学校 3 年生で本格的に学習するが、NEW HORIZON 2 の Unit 3 で、「～するために」という意味の「to + 動詞の原形」と「want to + 動詞の原形」の表現が登場する。今回は、この 2 つを同時に使用して定着を図るアクティビティーを紹介する。

[準備]

生徒一人一人に配る職業カードを用意する。今回の学生たちは、“announcer”, “astronaut”, “singer”, “soccer player”, “police officer” の 5 つの職業を選んだ。それに加えて参考資料 3 のような、会話の流れを記したワークシートも準備する。見てもらうとわかるように、シートの上部にそれぞれの職業になってどんなことをするかまで書かれている。

[指導]

- (1) 教科書に記載されている「to + 動詞の原形」と「want to + 動詞の原形」の説明を終えた後、生徒一人一人に、職業カードを配布する。
- (2) 生徒は配布されたカードに記載されている職業を自分が将来なりたい職業とし、それぞれの職業に応じて、“I want to be a police officer to keep the peace.” といった文章を完成さ

せ、ワークシートの指定の欄に記入する。

- (3) お互いがどんな職業に将来なりたいかを知らない状態で、ワークシートに記載されている会話練習をペアで行う。最初は隣の人とペアワークを行うが、それ以降は各自自由にペアを見つけて会話練習を行う。ペアの会話練習が終わる毎に、相手の人がどんな職業になりたいと言ったのかをワークシートの下の部分にメモしておく。
- (4) 上記のペアワークがある程度の回数終わったところで生徒を着席させる。そして教師の方から、「先生が今回探してほしかった職業の人は～でした。」と言って、上記5つの職業の中から1つを発表する。最終的には、生徒全員の中で、教師が最後に発表した職業になりたい人と一番多く会話した生徒が優勝となる。

学生と打ち合わせする中で、最後まで迷ったのが、希望の職業を生徒自身に選ばせるか、今回紹介したように教師側から指定してしまうか、どちらの方がいいかということであった。生徒自身に好きな職業を選ばせた方が楽しみは増えるとは思いますが、選ぶ職業が偏ることが予想されるので、その点で上記の(4)につなげにくくなる。そのような懸念から、色々な職業を志している人とまんべんなく会話できるように、今回は教師の方で職業を指定する方法を採用した。

#### 4. “have to” & “must” とそれらの否定形の学習<sup>4)</sup>

Unit 4では、“have to”と“will”や“must”といった助動詞とその否定形の学習、そして1年生で学習した“can”を復習できるように構成されている。特に、“have to”と“must”の否定形に関しては、“not”の付く場所の違いと意味的な違いの2つが混乱しやすいと思われるので、それらの点を重視したアクティビティーを紹介する。

##### [準備]

参考資料4の様な、様々な施設を印した地図をグループ数分用意する。さらに、それぞれの施設で、「しなくてはいけないこと」と「しなくてもいいこと」(“have to”/“not have to”), 「しなくてはいけないこと」と「してはいけないこと」(“must”/“must not”), そして「できること」と「できないこと」(“can”/“cannot”)を記載したカードを作成する。各施設につき、3文ほど書かれており、上記の6つを入れるべき箇所は空欄になっている。例えば、

[Library]

1. You (            ) pay money to enter this place.  
そこに入るのにお金を払う必要はありません。
2. You (            ) speak aloud there.  
そこで大きな声で話してはいけません。
3. You (            ) read books and newspaper there.  
そこで本と新聞を読むことができます。

[School]

1. You (            ) go there on Sunday.  
そこに日曜日に行く必要はありません。
2. You (            ) meet your friends there.  
そこで友達に会うことができます。
3. You (            ) study there.  
そこでは勉強しなくてはなりません。

というように、3つの文章を全て考慮することにより当該の施設を特定できるようにしておくといふ。

[指導]

- (1) 生徒を4人1組のグループに分け、各グループに上記の地図と施設カードを1セット配る。
- (2) 出題者の3人だけが施設カードを見られる。その3人でカードの穴埋めの部分に適する助動詞を入れながら解答者に向かって読む。
- (3) 解答者は、出題者の3人が読んだ文をもとに、地図上で当てはまる施設を探す。解答できる回数は1回。
- (4) 当たったら、時計回りで役割交代をしながら進めて行き、一番多く正解したグループの勝利。

アクティビティーの性質上、施設カードに記載するヒント文は、その施設を特定するのが

難→易の順序で並べてある方が好ましい。また、生徒のレベルが高い場合は、ヒント文の日本語訳を記載しないでおくと、出題する方も考えながら読まないといけないので単調にならずに済むかもしれない。

## 5. 比較級と最上級の習得—うすのろ風ゲーム<sup>5)</sup>

中学校2年生の最後、NEW HORIZON 2のUnit 7で比較級・最上級表現が登場する。中学校2年生レベルの比較級・最上級の文において、難関の一つとなりうるのが、形容詞・副詞に単純に“er” & “est”を付ける単語と、不規則な形になる単語 (ex/ easy – easier – easiest), そして“more” & “the most”が前に付く単語の区別である。NEW HORIZON 2にもこのことに関しては、「比較的つづりの長い形容詞や副詞の場合、比較級は more... 最上級は most... となる」(p. 77) とシンプルに説明されているように、このルールに関して正確に中学校2年生に言葉で教える必要はないと考える。それよりも、アクティビティー等を通して、不規則に変化する単語自体を体に覚えこませる方が効果的であろう。この目的に合致するアクティビティーを学生が考えてきたので紹介する。

このアクティビティーのベースとなっているのは、「うすのろ」と呼ばれるカードゲームである。「うすのろ」とは、数字が同じカード4枚 (スペード・ハート・ダイヤ・クラブ) を人数分 (例/ 4人で遊ぶ場合には4枚×4セット) 用意し、手持ちのカードを両隣のプレイヤーと交換することにより、自分のカードを全て同じ数字にするゲームである。真中にプレイ人数より数が一つ少なくなるように小物を置き、誰かのカードがそろった時点でその小物を奪い合い、取れなかったプレイヤーがその回の敗者となる。

### [準備]

ターゲットとする単語を4つ選び、それぞれの原形、比較級、最上級が書かれたカードと、よくある間違いを記したダミーカード (ex/ beautifuler, more strong, bigger) を作成する。これを1セットとし、グループ数分用意する。

### [指導]

- (1) 生徒を4人1組に分け、上記のカードを配布する。各グループでカードをよくきり、1人4枚ずつ配る。取りあう小物として、消しゴムを3つ中央に置いておく。
- (2) 合図の掛け声とともに、自分の手札から不要なカードを左隣の人の前に置く。それと同時に右隣から回ってきたカードを自分の手札に加える。

- (3) 自分の手札 4 枚のうち、同一の正しい「形容詞・副詞の原形」・「比較級」・「最上級」がそろったら中央に置かれている消しゴムを取る。この場合、残りの 1 枚は何でもよい。グループの中の誰か 1 人が消しゴムを取ったら、他のメンバーも取りにかかる。カードがそろった人の手札を皆で確認し、正解なら消しゴムを取れなかった人がアウトとなる。間違っていた場合、もしくは誰かのフェイントにひっかかってお手付きした場合は、その人がアウトとなる。
- (4) これを繰り返して、3 回アウトになった時点で、その人の負けとする。

「うすのろ」というカードゲーム自体、非常に盛り上がるゲームなので、このアクティビティーも、2012年に行われた模擬授業の中で一番の盛り上がりを見せた。ただ、要求される英語のレベルは非常に低いので、ある程度教科書の内容を理解している生徒にとっては、単に「うすのろ」に似たゲームをやっているだけ、となってしまう。そのような場合には、まだ 2 年生の時点では習っていない単語を使って、生徒に感覚的にそれらの単語がどのような形になるのか考えさせながらゲームをしてみるといいかもしれない。

## 6. おわりに

英語科指導法 I の授業では、学生は、「文法説明に重点を置いた指導案」、「アクティビティーに重点をおいた指導案」、そして「Reading に重点を置いた指導案」の中から好きなものを選んで考えてくるのだが、毎年約半数近くの学生が「アクティビティーに重点をおいた指導案」を選んでくるため、割合的には一番多い。今回は、その中から、中学校 2 年生で習う文法項目の定着をはかるのに適した 4 つのアクティビティーを紹介した。ルールの簡略さ、アクティビティー自体の面白さ、そして何より英語学習上の効果、その全てを併せ持つものの数は多くはないが、また機会を得て、そのような優れた授業案を報告していきたいと思う。

### 注

- 1) 2012年より科目名称変更。旧名称は授業構成法（英語）。
- 2) この授業案は、2007年の授業において、青木俊介君、伏屋俊成君、竹中緑さんによって発表された。
- 3) この授業案は、2012年の授業において、千田しお梨さんと河村麻由さんによって発表された。
- 4) これは、2011年の授業で、笹田真紀子さんと大嶋奈都美さんが“can”と“cannot”の学習用に考

案してきたものを、今回の目的にあわせて修正して紹介したものである。

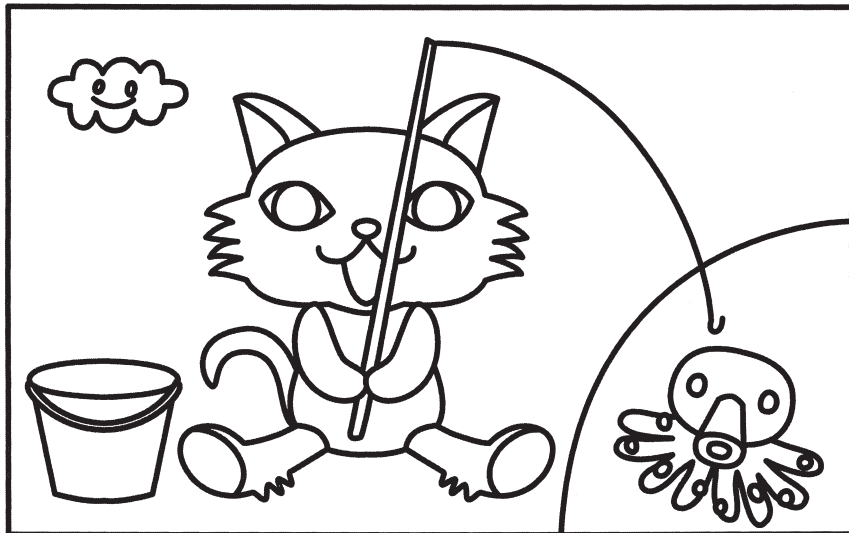
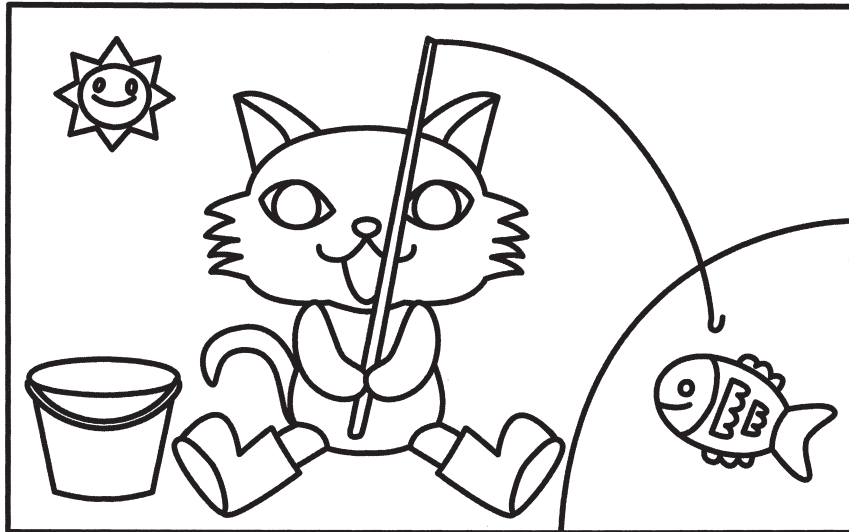
5) この授業案は、2012年の授業で、大西浩平君と伊藤英君によって発表された。

#### 参考図書

NEW HORIZON English Course 2, 東京書籍, 2006.



参考資料 1



※「ぬりえやさん」のぬりえは、  
webサイトで無料ダウンロードできます。  
©ぬりえやさん☆<http://nurie.ciao.jp/>

参考資料 2

## 間違い探しワークシート

Q : これから見せる二つの絵をよく見て、いくつかの間違いを見つけてください。まず例文を載せるので、例文のように間違いを過去形で書いてみましょう。

～例文～

絵の中のバナナが一本多くなっていることに気づきました。そんなときは…

Two bananas were on the table.

But three bananas are on the table.

と表します。

このように、be 動詞、動詞を変えて過去形にしましょう。

～be 動詞の変化～

**is, am→was**

**are→were**

では、絵を見て間違いを探し、グループで文を作ってみましょう。

参考資料 3

Work sheet

What do you want to be in your future?

I want to be \_\_\_\_\_ to \_\_\_\_\_ .

〈職業の種類〉

an announcer	announce news
an astronaut	Travel to planets
a singer	sing on TV
a soccer player	play in the World Cup
a police officer	keep the peace

〈会話の流れ〉

A: Hello.

B: Hello.

A: What do you want to be in your future?

B: I want to be \_\_\_\_\_ to \_\_\_\_\_ .

A: (Wow!! / Sounds great! / Oh, I see.)

B: How about you?

A: I want to be \_\_\_\_\_ to \_\_\_\_\_ .

B: You can do it!

A: Thank you. You, too.

〈スカウトした人の人数〉

Announcer \_\_\_\_\_

Astronaut \_\_\_\_\_

Singer \_\_\_\_\_

Soccer player \_\_\_\_\_

Police officer \_\_\_\_\_

参考資料 4

